

燃費改善・環境負荷の低減と 燃料備蓄によるBCP対応の一石二鳥

◎ (有)エコ・アース、ヒラオカ石油(株)

(有)エコ・アース(埼玉県川口市芝西2-26-3、☎048-299-5800)は軽油用燃焼促進剤「K-S1」の販売促進を手掛ける。

金沢大学と(株)大智が共同開発した特許製剤で、軽油に1000分の1の量を添加するだけで平均10%程度の燃費改善が可能になり、15~20%以上の結果を出した事例も少なくない。添加剤は軽油100%で製造しており、化学薬品を一切使用せず、油分の変質もない。添加剤が燃料の分子集団に作用し分散させることで、酸素と接触する分子の表面積が増えて燃料自体の燃焼効率を高める。完全燃焼が促されるので、燃費改善とともにCO₂・PM・Nox等の有害成分も削減する。K-S1を使用することで、エンジン内が洗浄されていくという副次的効果もある。

成分は100%軽油なので公共工事や公道を走行する車両も安心して使用でき、国土交通省の新技术情報提供システム(NETIS)では希少なVRに認定されている。建設工事における総合評価方式及び公共工事成績評



現場給油の様子



軽油用燃焼促進剤「K-S1」

定での加点も見込まれる。標準販売価格は1ℓ当たり4000円。

着実な燃費向上や環境負荷の低減に対して、大きな手間はでないものの現場等で直に燃料油に添加しなければならないのが課題だったが、燃料配達事業のヒラオカ石油(株)(東京支社:東京都足立区千住大川町27-7、☎03-5284-2888)と提携し、事前にK-S1の添加を済ませた「プレミアム軽油」を現場に直接配送するサービスも開始した。

また、ヒラオカ石油は東日本と西日本のそれぞれに燃料備蓄拠点をもち、自社備蓄量は常時6800ℓに及ぶ。配送用のタンクローリーも100台保有し、備蓄能力と機動力を活かして、もしもの災害時に確実に事業を継続させる目的で、緊急時優先給油契約「きつと」を商品化している。企業の事業継続計画(BCP)にも合致し得るもので、同契約内でプレミアム軽油を供給することも可能だ。解体工事業や建廃処理業は万が一の大災害時に、啓開活動や災害廃棄物の撤去・集積でいち早く動かなければならない業種だが、迅速な対応には燃料の安定確保が欠かせない。エコアースとヒラオカ石油の提携は、燃費改善・環境負荷の低減とリスク管理の双方に視点を置いた取り組みと言える。